

THE NAWay MAGAZINE®

世界中で読まれているNAの定期刊行物



2017年7月発行
第34号 ◆ 3号



• 東アフリカのフェローシップディベロップメント

• WCNA 37!

世界中で 読まれている NAの定期刊行

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのを待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクスアノニマスワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されていない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.org にeメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine: ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクスアノニマスワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

編集者から、ひとこと

NAワールドコンベンション [WCNA] が開催される年の「ワールド ユニティデー」は、コンベンションの出席者たちと、電話回線やインターネットによって参加する世界中のNAメンバーたちとが、ひとつになって祝うイベントだ。それに対して、WCNAが開られない年の「ユニティデー」には、実にさまざまな祝い方がある。「ユニティデー」に関するイベントを行うグループやサービス機関があれば、一体性をテーマにするミーティングもあるし、あるいはまたハイパーパワーとの静かなひとときを過ごすメンバーたちもいる。そうして、それぞれに世界中の仲間とどこかでつながっている。9月2日には、みなさんがどのように「ユニティデー」を祝うのであれ、「平安の祈り」をとえながらNAがひとつになってあふれる愛と前向きなエネルギーをわかちあうさいには、みなさんの存在が「実感」できるだろう。(今月号に掲載されている「ユニティデー」のチラシを、みなさんのNAにいる仲間たちとチェックしておくといいだろう)

さて、わかちあうといえば・・・ NA Way マガジンは、みなさんの回復をつづる雑誌であることをお忘れなく。みなさんは文章にしたり、アート作品にしたりと、いろいろなやり方で自分の経験と力と希望をわかちあうことによって、回復の道を歩む仲間たちの手助けができるのだ。それはミーティングでのわかちあいや、スポンサーシップや、サービスに関わることと、なんら変りがない。Eメールによる投稿は、電子文書 (doc/docx, rtf, jpeg, pdf など) にして naway@na.org へ送信。ファクスの宛先は、NA Way Magazine, 818/700/700。郵送の宛先は、NA Way Magazine, PO Box 9999, Van Nuys, CA 91409となっている。自分に与えられたものを、仲間たちとわかちあおう!

ド・J (エディター)

今月号の掲載記事

特集記事	3	フェロウシップ ディベロップメント	9
• しっかりした土台		• 東アフリカ	
ベーシック・キャプション・コンテスト	4	メンバーの意見	12
わかちあい	5	サービスセンター	13
• ステップ3の厄介なところ		知ってた?	14
• 神との取引		Calendar	17
• 人生という本のページ		NAWS Product Update	19
• 窓越しにのぞきみる		Coming Soon	20
グループ紹介	8		

電子版はここをクリックすると追加のコンテンツを見られます

表紙写真: アイルランド リージョン

「2016年 ミッドサマー・キャンプアウト」 (真夏のキャンプ) によるアート作品

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからの便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。



しっかりした土台

ナルコティクス アノニマスにつながって10年以上の経験があっても、おれの日常はほんの一瞬でぐらついてしまった。バイクに乗っていて車にはねられたのだ。ある瞬間まで、おれは回復の道を歩む元気なアディクトで、人生をめいっぱい楽しみながらバイクを走らせていた。そこへいきなり、「ドカン！」ときた。外科病棟で16時間を過ごしたのち、家に帰されたが、骨盤骨折により立つて歩くことができなくなっていた。バイクで走り回る生活から、車椅子に乗ってウロウロする生活になったというわけだ。一瞬にして、人生が様変わりしてしまった。そんなことが、世間ではよくあるらしい。回復の道を歩むアディクトや、おれの知り合いにも、同じような境遇の人がいる。だが、もう他人ごとではないのだ。ナルコティクス アノニマスがあっただけよかった。

初めてNAにたどり着いたとき、おれはそれこそもう必死だった。まさに、どんなことでもやってやろうという気になっていた。それまでだって、麻薬を手に入れるためなら何だってやろうとしてきたんだからな。そうして回復の道を歩み始めたおれにとっては、あの絶望という贈り物をやる気と広い心と正直さに変えていくことが重要だった。おれは敗北を認め、やる気を持って、未知のスピリチュアルな旅に出た。そしてみんなにならい、ホームグループに入ってサービスにかかわった。スポンサーができてステップに取り組んでいき、スピリチュアルな原理について学びながら、それを日々の生活でせいいっぱい実践するように努めた。

当時は、回復の道を歩んでいても、何が起きているのかわかっていなかった。それも今なら、わかる。おれは、人生と向き合うためにしっかりした土台を築きつつあったのだ。クリーンであろうとなかろうと、おれたちは人生の荒波にもまれ、何度となく災難にみまわれ、山あり谷ありの日々を生きていくことに変わりはない。これまでには、せつせとミーティングに通うのが同じことの繰り返しで、新鮮味に欠け、退屈に思えることもたびたびあった。それでも、とにかく足を運ぶことが忍耐というものだとわかった。おれはアディクションという病気にかかっているんだから、回復の道を歩むしかない。だれも、おれの代わりに回復してくれるわけじゃないんだということを学んだのだ。

事故による動揺が収まってからも、おれには歩けなくなってしまった自分がどう生きていくのか

という問題が残されていた。現実をありのままに受け入れなければならないし、必要とあらば降伏もせざるをえない。こうなったら、自分の理解する神とこのプログラムを信じてお任せするしかない。何かがあると、NAのスピリチュアルな原理によって乗り越えられないことなどないのだ。おれは、ナルコティクス アノニマスと仲間のみんなを裏切りたくない。だから、今回のことも尊厳をもって乗り越えられるさ。そして、乗り越えたとしても、それを自分の手柄にしたりはしないと約束する（まあ、ちょっとは自慢するかもな）。

ジェイ・W（アメリカ合衆国／カリフォルニア）



ベーシック・キャプション・コンテスト

ここに、みなさんがNA Wayマガジンに参加できる新企画をご用意しました。左にあるコミック〔漫画〕のキャプション〔短い説明文〕を書いて送っていただくだけで、そのままキャプション・コンテストに参加できてしまうのです。みなさんのキャプションから傑作と思えるもの（1点とは限らないかもしれませんが）を選んで、次回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そうやってNA Wayに名前が載るというのも、なかなかいいものでしょう。申し込みは、Eメールで受けつけています。宛先は naway@na.org。件名は「ベーシック・キャプション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必ず記入するようにお願いします。



第1回 エスペランサ コンベンション（アメリカ合衆国テキサス州サンアントニオで開催）
写真撮影者：ギルバート・L（アメリカ合衆国／テキサス）

WCNA 37

日程を押さえておこう!

2018年8月30日～9月2日

アメリカ合衆国
フロリダ州オーランド

詳細は、18ページをご覧ください

まもなく 発行!

NA Wayニュースレター特集号

世界各地のNAのニュースレター委員会には、それぞれのニュースレターの郵送先リストに『NA Wayマガジン』を加えていただくか、それぞれの最新号を送っていただくようお願いしました。ご協力いただいたみなさんには感謝いたします。今ならまだ間に合うので、ニュースレター特集号に掲載する資料（記事やアート作品など）があれば、ぜひお寄せください。記事の掲載にあたっては、出典のニュースレター名を明記するほか、（URLがある場合には）インターネット版の『NA Way マガジン』によってみなさんのサービス機関やニュースレターのWebページにリンクできるようにいたします。

そのほかにも、みなさんにはニュースレターのガイドラインも送っていただくようお願いしました。すでに送られてきたものについては、www.na.org/localresourcesにある「ローカルサービスリソース」というページ*にアップロードされています。今ならまだ間に合うので、naway@na.orgへみなさんのガイドラインをお寄せください。世界中のニュースレターによるサービスの取り組みに、みなさんのガイドラインを活用してもらいましょう。

ご協力をお願いします。

*このページに掲載される資料は、世界各地のサービス機関によって作成されたものです。（特に明記されていない限り）NAワールドサービスまたはワールドサービスカンファレンスによって承認または提携されたものではありません。ほかにも共有すべきサービスの資料があれば、fsmail@na.orgまでお寄せください。



わかちあい

ステップ3の 厄介なところ

3年前に、わたしは再びステップ3について書き始めた。自分が生きるうえに無力さや思うようにならないことがどうしても受け入れられずにいる部分があり、またもや降参する羽目になったのだ。ありがたいことに、解決策はどこにあるのかわかっている。ステップ3は、わたしのお気に入りのステップのひとつだ。ステップ3について書いてから実践すれば、希望にみたされる。そうでもよくちゃいけない。だから、ステップ1と2について書き終わると、わたしはものすごい意気込みでステップ3に取り掛かった。

それなのに、何週間かして立ち往生してしまった。わけがわからなかった。「わたしには、ステップ3がぜんぜん入ってない」ということをめぐって、スポンサーとひんぱんに会話が交わされることになった。わたしは、わかっていて当然のような質問にもうまく答えることができなかった。ステップ3で自分の意志といのちをハイヤーパワーの配慮にゆだねればよいことがあるはずなのに、今回はちっともよくなっているという気がしなくてイライラした。神は、わたしの意志といのちをどうやって大事にするつもりなのか。わたしには理解できなかった。それでも書くことをやめず、ステップ3が入るように祈りなさい、とスポンサーから提案された。自分のなかの変わるべきものは何であろうと変えてくださいと神に願うことで、ステップ3が入るから降伏できるし、そうすればふたたび希望がもてるというのだ。スポンサーにそう言われるまで、わたしはイヤイヤ書いていた。とりあえず手を動かしていれば、そのうちに奇跡が起こるだろうと思っていた。そんないいかげんは書き方をしていたのが、しっかり祈るようになると、何が間違っているのかわからなくなった。わたしがステップ3でつまづいたのは、ステップ2が入らないからだ。

ステップ2というのは、あっさり済ませてしまいがちなよね。わたしは回復の歩んで10年が過ぎていたから、信じるようになったという言葉のみですっきりになってしまった。思いあがりもいいところで、ハイヤーパワーを信じるようになり、もうこれ以上ステップ2に取り組む必要はないと思ってしまったのだ。

そういうわけにはいかなかった。どのステップもきちんと取り組まなければいけなくていいのよ。なかなかうまくいかないステップも、あるいは簡単すぎるステップもまたりするものじゃない。ステップ2は、私たちが信じるようになったと言えるのではない。自分を超えた偉大な力が、私たちを正気に戻してくれると信じることができたといっているのだ。わたしはもちろん、ハイヤーパワーによって正気にももらえるのだとわかっている。これまでにわたしは、薬物を使うことや、浪生行動からも、そして注目を浴びたいとか肯定してもらいたいという欲求から回復して正気になることができた。けれども、食べ物にまつわることでどうしたらかわらなくなってしまい、とても正気ではいられなかった。そうして自分が無力でどうもなくなっていることを理解して、今度こそはと、ステップ3に取り組んだ。自分の意志といのちを神の配慮に完全にゆだねる気にもなった。それは、自分で変えることができないとわかったからだけけど、わたしは前進しようと躍起になっていたため、食べ物に関することでハイヤーパワーが自分を正気に戻してくれているかどうかということまで気が回らなかったのだ。

本当のことを言えば、神にはわたしを正気に戻してくれる力があると信じている。自分にはそうしてもらっただけの価値がないと思いついていた。わたしが信じている、完全な正気というものに心底からありがたみを感じられない。それが進むものだと、どうも言い切れないところがわたしにはある。それは、わたり多くが回復の道を歩みだしたころによくやる先延ばしのようなもの。混乱やマヤバカ騒ぎがなくなったら、退屈してしまうというわけだ。それに、先延ばしはかかないと、わたしはすっかり「癒されて回復してしまう」から、ミーティングでだれも共感してくれないかもしれないということもある。

それでも、自分の理解する神は、わたしに正気と自由を経験させたいと思っている。そんなことは、わたしだってわかっている。そして、それを阻んでいるのは自分だということも。つまり、自分は正気と自由を知る価値がないと思いついてから、先に進めないのだ。それがわかったら、いくらか行動することができた。わたしは何年にもわたって、このような生き方に値すると自分に言い聞かせながら回復の道を歩ん

できた。自己憐憫と自己判断は、わたしの欠点の最たるもの。わたしは、ひたすらこの2つの欠点に取り組みなければならない。それには、自分についてあるがままの事実、すなわちわたしは負け犬でもスーパースターでもないのだということ、自分に言い聞かせるしかない。年月を経るなかで、わたしは卑屈にならないようにするためにいくつかのトリックを身につけ、ステップ2と3を書き直しながら必死で実践した。そのちがいは驚くべきものだった。わたしは自分が正気に値すると素直に思えるようになり、それによってようやく探し求めていた自由をみいだした。

ステップ2は、ひとつ飛びでステップ3に行けるほど甘くはない。そんなことをしたら、わたしは自分に対する責任をみずから放棄することになってしまう。うまく飛び越すなんて、「わたしは無力です。だから、神さま、わたしを治してください」というのも同然だ。わたしは謙虚には生まれついていない。根っから傲慢なのよ。それでも、ステップ2に敬意を払おうという気持ちが芽生えた。だって、希望をもたらすことができるのは、ステップ2をおいて他にはないんだもの。

リーヌ・B (南アフリカ/ダーバン)

神との取引

俺は入所していたリカバリーハウスを出て行くつもりだった。仮釈放なしで7年の懲役をくらうことになるだろうが、覚悟の上だった。俺は、神と取引したんだ(神の存在を信じきれないにしても、神というものを信じるようにはなっていた)。その取引ってというのは、オフィスまで行ってNAのミーティングに行くためにバンが使えるかどうか確かめるというものだった。うまくいく見込みが薄いのは承知で、バンが使えるようだったら俺はとどまることになるし、そうでなければ荷物をまとめて出て行くつもりだった。

オフィスに着くと、デスクの向こうにいた男は電話中だった。男は電話を中断して、何の用だと聞く。俺は、NAのミーティングに出なきゃならないのでバンを使わせてくれないかと頼んだ。ダメだねと言われ、すぐさま「ほら、荷造りだ」と思った。すると、男がちょっと待ってくれと押しとどめ、「おれが今話している相手は、ミーティングに行くんだよ。それでお前さんを迎えに来てくれるとさ」と言うじゃないか。俺が「いや、そんなことしてもらわなくても、大丈夫だから」と断っても、男は「ミーティングに出なくちゃならないって言ったじゃないか。奴はもうこっちへ来るよ」と引き下がらなかった。

俺はムカついて、どうしていいかわからないまま、オフィスの外に立っていた。神との取り決めは、バン1台だ。バンがなければ、俺は出て行くんだ。ここ

は大人しくして、迎えに来た男とミーティングに行こう。ミーティングが終わったら、出て行けばいいんだと腹をくくった。それでもいざ迎えの車がくると、紹介したとたん、俺はぶっ飛んだ。「ヤア、おれはバンっていうんだ」。ミーティング場に向かう間、俺はずっと笑っぱなしだった。

ジム・B (アメリカ合衆国/テキサス)

2009年4月 NA Way Magazineから転載、

人生という本のページ

あたしが小さかった時のことで、母さんがこんな話をしてくれた。母さんは、あたしを躱けようとしてクレヨンを取りあげたらしい。次の朝、母さんが起こしてくると、あたしは頑として起きようとせず、クレヨンがないならベッドから出たって意味がないと言ったそう。子どもながらも、1日乗り越えるには何かがないとダメだと思っていたわけよね。それから15年して、薬物があたしのクレヨンになった。あたしはアディクトのクリーステン。

なぜ、あたしにはクレヨンが「必要」だったのか？ それなしでは一日を生き抜く気にならないなんて、どんな役に立っていたのか？ そうねえ、絵に色を塗っていると楽しかったし、みんなに見せて褒められるとなおうれしかった。いい子で、才能があって、特別だと言ってもらえることで、欲しがっていたものが手に入った。あたしは愛されて受け入れられているって思えた。価値があると感じた。でも、クレヨンがないと自分は劣っていて、空っぽで、価値がないと感じた。つまり、あたしはクレヨンを手にして色を塗ることで、人生という本のページに彩りを添えたの。

あたしはみんなから認めてほしかった。その思いがあまりにも強くて、それがかなうなら、なんでも利用していった。それも、何かが変わるまでのことだった。あたしは10代になり、いくつか間違いを犯した。もはや、親たちはあ

たしのことをいい子だとは思ってくれなかったし、作品が最高の出来栄でも昔のようにちやほやしてもらえなくなった。周囲からこれまで以上に大きな期待を寄せられ、完璧でなければ応えようがなかった。あたしは過去の栄光にしがみつくのをやめ、アディクションにのめり込んでいった。そうしてクレヨンから薬物に乗り換え、親たちより友人に認めてもらうことにした。

そしてたちまち、ひとをうならせるような作品を創りだすよりも、ハイになる方がずっと簡単だとわかり、あたしの人生のページは薬物、パーティ、セックス、お金で埋めつくされ..... 收拾がつかなくなっていった。デタラメに引かれた線。そこらじゅうにぶちまけられた色。まったく形をなさないだだのなぐり描きで、ときには、ページからすっからはみ出してしまうこともあった。しっちゃんめっちゃかになっていったけど、そんなことどうでもよかった。あたしのページは埋めつくされていたし、それこそがまさに大事なことだった。

あたしのページを薬物で彩るのは、クレヨンのときとは勝手がちがった。クレヨンは値段も手頃だし、数や種類も豊富で、いくらでも手に入った。でも、薬物はすぐになくなってしまし、いくら手に入れてもきりがなかった。あたしのクレヨンはどれもみなすり減って小さくなり、色とりどりの粒と化していた。そのちびた粒で必死に色を塗ろうとしたけど、床にこぼれ落ちてしまい、あたしのページを埋めるのには使い物にならなかった。明るいきれいな色がなくなってしまい、残っているのは黒いクレヨンだけ。使えるのが黒しかないから、どのページも真っ黒だった。薬物は効き目がなくなり、もう人生のページを埋めるために使うことができなくなってしまった。

だから使うのをやめようとしたの

Download your NA Way Magazine Coloring Pages here!



窓越しに のぞきみる

に、やめられなかった。常習になったら、なすすべがないと悟った。あたしは薬物に人生を支配され、クレヨンで色を塗ることで助からない。何かないだろうか。あたしを救ってくれる強力なもの。あたしの代わりにページを彩ってくれるもの。そして、絶対になくならないものが必要だった。その何かとは、愛と思いやりのある自分より偉大な力であり、あたしなりに理解する神だった。あたしはナルコティクス アノニマスにつながり、12のステップに取り組むことで神をみいだした。あたしが今こうして再び人生のページを彩ることができるのも、神と12のステップとナルコティクス アノニマスの仲間たちのおかげにほかならない。

あたしはもう薬物をクレヨンとして使う必要はない。なぜかといえば、神があたしのために選んでくれたものが一式あるからで、それは永遠に変わらないものなのだ。神が選んでくれたものに間違いはないし、そこにはあたしが知りもしなかったような色がたくさん揃っている。みんなで力を合わせれば絶妙な彩りの作品ができるし、神はつねに認めてくれる。あたしはもう、親たちや、友人や、ほかの人たちから認めてもらおうとしなくてもいいのよ。だからって、もう認めてもらいたい気持ちはないというのではない。ただ、今のあたしは、1日を生き抜くのに認めてもらうことを必要とはしてないってこと。

あたしは今、神の導きに従って生きているし、そうなのはNAにどっぷりはまっているから。ナルコティクス アノニマスが約束するのは、一つだけ。それは『アディクトであれば、どんなアディクトも、使うのをやめることができるし、使いたい欲求がなくなり、新しい生き方をみいだすことができる』ということで、まさにあたしの身に起きたことだから、絶対に嘘じゃない。世の中には、かつてのあたしのように苦しんでいる人たちがたくさんいるけれど、みんな別の生き方ができるのだ。けれども、それにはナルコティクス アノニマスのメッセージを受け取る必要があるし、そうでないと新しい生き方で自分の本を埋めつくしてみようという気にはなれないだろう。

あたしの本にはまだ、あの真っ黒に塗りつぶされたページがいくらか残っているし、たまに納得がいけないページができてしまうこともあるけど、でも、それであたしの本がすばらしさに欠けるというわけじゃない。パラパラページをめくっていくと、自分の強さを思い出させてもらえる。今こうして自分が手にしているものと、あの黒く塗りつぶされたページを比べることで、ちゃんと色が揃ったクレヨンを使えば、あたしの本がどれほど美しいものになりえるのかと実感できるわ。クリスティーン・L (カナダノアルバータ)

わたしは13年にわたってクリーンになろうとしました。まあ、言い換えるなら、13年のあいだ「歩みを止めたままでいる」ために努力したのです。ミーティングには通っていたけれど、参加してはいませんでした。何人かスポンサーができて、提案は受け入れませんでした。各ステップに関する質問にも全部答えましたが、正直に徹するつもりなどさらさらなかったのです。「回復者」っぽい人たちとつきあえば自分も「回復する」んじゃないかと思ひ、何人かと関係をもちました。そして、関係に新鮮味がなくなると(大抵は1ヶ月ぐらいて)、自分をクリーンでいさせてくれる次の関係に移る。ミーティングは恋人を漁る場でしかありませんでした。祈りはしても、ハイパーパワーが語りかける声に耳を傾けようとしたことなどありません。場所が変わればわたしのなかにある嵐が静まるのではないかと思ひ、ずっとあちらこちらを転々としてきました。ミーティングに出て、終わるまであと何分と時間を数えて座っていました。姿を見てもらう必要があったし、話を聞いてもらう必要があったのです。たとえ、事実とは違っても、わたしがクリーンでスピリチュアルな日々を送っていると仲間知ってもらう必要がありました。

13年のあいだには、薬物を断っている時期が何度かありました。たまにあちこちで使っては、自力でやめることになるのですが、絶対ひとは言いませんでした。そうかと思うと、リラプスしてすぐさま告白することもありました。さもないければ、ホワイトキータグをもらうべきなのに、うまく立ち回って1年のタグを手にしたこともありました。ですから、わたしはまったく一度も使わずに10ヶ月以上を過ごしたことがありません。ハイの状態でもホワイトタグをもらったことなど、数えたらきりがありません。わたしはいつもかたくななまでに意地を張り、心に壁をはりめぐらせていたのです。

わたしにはサポートグループがありませんでした。NAの手が差し伸べられていなかったからではなく、わたしがその手を掴もうとしなかったからです。積極的に働きかけてくれる仲間が何人かいましたが、わたしの破滅的な欠点を発揮するために利用する相手にしかありませんでした。自分より健康的だと思っただけの人たちに共通点をみいだしても、必ずわたしの病気がしゃしゃり出てくるので、せつかくもちえたそういう人たちとの結びつきを妨害するのです。自己欺瞞と自己中心性と薬物によって、堂々めぐりを繰り返すばかりでした。仲間であれ、スポンサーであれ、恋人であれ、わたしはだれに対しても誠実にはなれ

ませんでした。

こうしてまたNAのミーティング場に戻ってきたのですが、同じことを繰り返さないためにどうすればいいのかわからなかったわかっていませんでした。もう一度回復の道歩むことに、ワクワクもしませんでした。希望が持てなかったのです。回復がどういふものかはっきりわかっていないのに、助けを求める気になどありませんでした。もう2度と使わないと心が決まってもいませんでした。でも、その一方、わたしのスピリチュアルな面ではそんな自分に代わって決断をしていたのです。わたしは自分の意に反してものごとを行うようになりました。まさにこれまで散々やっていたことですが、今回は違いがはつきりしていましたが、これまでだったら嘘をついたところで、正直になったのです。騙していたところで誠実さを実践し、隠れていたところでは光のなかに踏み出したのです。そして、とりつくろっていたところで、自分自身に対しても他の人たちに対してもあるがままでいるようになっていきました。かつてはナルコティクス アノニマスの愛なる手から逃れていたところで、自分がつまづきかけてもその手に捕まえてもらえるようになりまして。

そして、気が乗らなくてもミーティングに行きました。ミーティングが終わるまでの時間ではなく、始まるまでの時間を数えるようになったのです。何があっても席に座っていました。スピリチュアルな面でも精神的にもわたしが欲しいものを持っているスポンサーを見つけて、一緒にステップに取り組みました。今回は、心を込めて徹底的に取り組みました。ハイパーパワーの声に耳を傾けることで、ものごとが違って見えるようになりまして。かつてはいろんな違いがあったのに、もう類似点しかありません。自分が恐れていたところに、落ち着きがみだせるようになったのです。

こうして今度こそ本当に、1年のクリーンタイムを祝うことができました。わたしには、暗闇で光りを放つキータグを手にするだけの価値がありました。それからサービスにしっかり関わってステップに取り組み続けながら、手を伸ばし、耳を傾け、祈り、降伏することによって、今(2016年6月)ではクリーンタイムが3年と7ヶ月になったのです。今のわたしには仲間たちがいるし、わたし自身もよい仲間になっています。愛されているし、社会でしっかりやっつけられるようになっています。もう、ナルコティクス アノニマスの窓越しに、ほかの人たちが回復していくのを眺めていなくてもいいのです。わたしたちは絶対に回復すると今のわたしにはわかっていました。だって、わたしが「わたしたち」になったのですからね。

エイミー・M (アメリカ合衆国ノテキサス)

グループ紹介

NA Wayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの与具が送られてくるのをお待ちしています。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮ください。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、ユニークな点など、グループやイベントの紹介文を添えていただくようお願いします。宛先は、naway@na.org となっています。

山上のミーティング

「アジュダ（ポルトガル語で『助けになる』）グループ」は、毎日ミーティングを開いています。日曜日の午前と、月曜日から金曜日の夜はクローズドミーティングで、土曜日の夕方5時からオープンミーティングです。会場があるのは、リオデジャネイロ州のノバ・フリブルゴという都市の中心街。ここは都市といっても、標高840メートル（2800フィート）の森林地帯にあって、気候は涼しいところです。もともとは教会でミーティングを開いていたのですが、数年前に発生した深刻な災害で街全体が泥に埋まり、長らく会場にしていた教会が壊れてしまったため、商業施設にある建物の部屋を借りるようになったのです。「アジャダグループ」の誕生は1987年の4月9日で、そのときからずっとNAの文献を使ってNAのメッセージを運んできました。

誕生して間もないころには、ミーティングを開くのも週に1回きりで、参加者も多くありませんでした。そのミーティングもあっちで開いたりこっちで開いたりしていたのですが、会場を1ヶ所に定めるようになって20年以上になります。また、1990年代に入ってメンバーがしっかりサービスにかかわるようになると、「アジャダグループ」は成長してメンバー数が増えていき、ミーティングも毎週開かれるようになったのです。現在は、月に一度サービスミーティングを開くことで、グループに問題が生じてもうまく対処できるし、それがとりもなおさず、グループの良心を通したハイパーパワーの導きによって12の伝統を守ることにもなっています。そして毎週のミーティングには、地元のクリニックの患者や裁判所命令による人たちも参加するようになりました。

現在、ミーティングの出席者は平均して20人で、新しい仲間が多いだけでなく、何年にもわたって回復の道を歩むメンバーもたくさんいます。クリーンタイムの年数は平均が8年ですが、最長で29年のクリーン

タイムを持つメンバーもいます。そして、「アジャダグループ」でメンバーのクリーンタイムを祝うときには、本人のスポンサーに司会進行をつとめてもらいます。はじめにスポンサーが本人にまつわる話をし、それから本人の名前を呼んでキータグかメダリオンを渡し、本人にわかちあいをお願いするのです。これはたいてい、オープンミーティングで行うことになるので、家族を招き、大きなケーキを切り分けて、冷たい飲み物やお菓子が振る舞われます。カルロス・P（ブラジル/リオデジャネイロ州）





フェロシップ ディベロップメント 東アフリカ

NAの成長とともに、世界中のアディクトがみな、NAのメッセージを受け取って新しい生き方ができる日がくるだろう。このような未来像に向かって、私たちはこれからも歩みを進めていく。NAは、自国を離れて旅をしたり一時滞在をしたりしているNAメンバーやNAの友人たちによって、新たな地に伝えられることが多い。NAを知ってもらうにはこのような人たちの存在が欠かせないが、しかし、NAが回復のプログラムとして本当に認められるには母国人である地元住民に定着しなければならない。新たな地にNAが誕生してい



く過程では、ミーティングを開いても続かないことがよくある。また、たいへいメンバーも少ないし、NAのステップと伝統と概念についてもすぐには理解できないため、経験豊かなメンバーと関わってNAが世界中に広がる集まりであることを知るのが大事になる。これを可能にするために、NAワールドサービスは誕生したばかりのNAに支援や協力を惜しまない。勉強会を行い、サービスに関する資料と無料もしくは差額援助による文献を提供し、財政援助を行うなどして、継続的に現地のメンバーたちと連絡を取り合っている。そして、新しいNAがしっかりしてきたら、ワールドサービスは必要に応じて支援を行いつつも一歩退き、新しいNAが自分たちのペースで成長していくに任せることにしている。

以上のようなことは、東アフリカのいくつかの国にも当てはまる。セネガルとカメルーンでは、ミーティングを開こうといろいろ試みていることがわかっている。そして、たまたまEメールによるやりとりから、リベリアでは10年ほどにわたってNAが存続してきたという事実を知ることになった。今月号では、ガーナとナイジェリアでそれぞれNAの誕生と発展に一役買ってきたメンバーによる報告を紹介しよう。

NAガーナ： みんなの経験

NAの成長とともに、世界中のアディクトがみな、NAのメッセージを受け取って 私はこれまでずっと、ものごとを始める手助けをすることに情熱を燃やしてきた。それは私にとって、アディクションという病気と同じく、生き方の問題になっている。与えられた条件がどんなものであろうと、私はみずらの人生を「しっかり生きること」を目指している。そして、さまざまな困難をとおして自分が学んできたことをわかちあうことにより、かつて自分が抱えていた問題をほかの人たちが解決するのを手助けする準備ができた。回復の原理によって役に立つとすることで私の生き方が変わりつつあり、その途中で私は学び続けている。

私は仕事柄、病に苦しみながらも適切な治療が受けられない人たちを支援する機会があった。これまでガーナへは15回以上、ほかのアフリカの国々には20回以上旅をしてきた。その過程で回復を求めているアディクトたちともつながりが生まれ、ガーナのNA誕生にもかかわることができた。そうして20年に及ぶ年月の間に私が目の当たりにしてきたこの一部を、ここに喜んでわかちあわせていただく。

2016年10月現在で人口が2600万人を超えるガーナでは、8つのNAミーティングが開かれている。その1つ目といえるのが、2004年にAAとNAのメンバーたちによって開かれるようになったミーティングである。AAはそれまでも存在していたが、2004年にNAが誕生したあとに消滅して、再び導入されたと報告されている。この最初のNAミーティングは、ガーナの大西洋岸の都市アクラにある大学病院のアルコール解脱病棟で開かれた。これは今でも地元の精神病院で開かれており、ここでは治療も受けられるようになっている。このほかにも、リハビリ施設や、ガーナで最大最古となる大学の構内をはじめとして高等教育の学校でもミーティングが開かれている。

ガーナ第2の都市であるクマシ（内陸のアシャンティ地方）には2つのミーティングがあり、熱心なガーナのNAメンバーたちによって支えられている。私は最近ガーナを訪れた際に、この熱心なメンバーたちの一人と一緒に地元のテレビによる広報活動を行なった。また、ケープコーストの沿岸都市にある精神病院と教会が運営する中間施設でも、ミーティングが開かれるようになっている。この2つのミーティング

アフリカンゾーナルフォーラム:

エチオピア、ガーナ、ケニヤ、レソト、リベリア、ナミビア、ナイジェリア、ルワンダ、南アフリカ、タンザニア、ウガンダ、ザンジバル、ジンバブエ

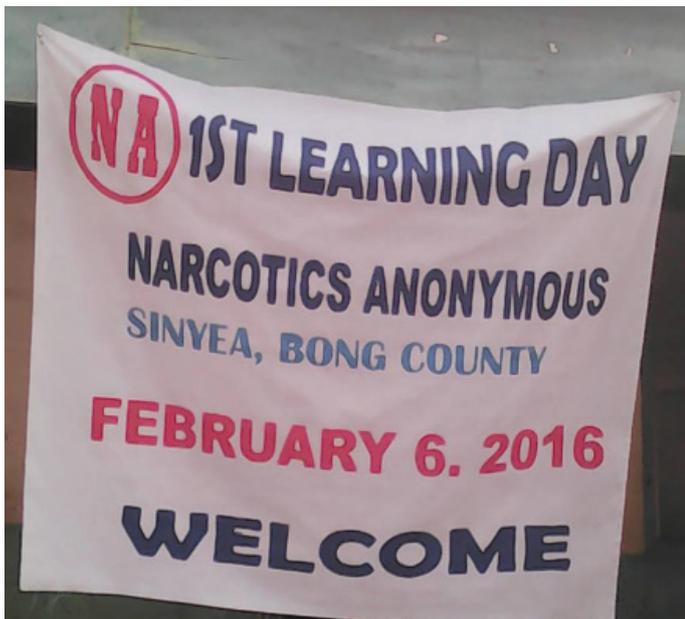
は参加者が多いが、発展途上のNAの例にもれず、経験豊かなNAメンバーの支援を必要としている。

ガーナではアディクションが白い目で見られているため、恐れと恥じる気持ちが否認の温床となり、アディクトの家庭を崩壊させることになる。家族はアディクトがいることで世間から後ろ指をさされるのを恐れ、家族の秘密にされたり、家族から見放されたりしてしまうことが少なくない。多くの人たちがアディクションを呪いと見え、薬物使用を心や意志の弱さによるものだと思込んでいるのだ。女性の場合にはさらに社会の目が厳しくなるため、薬物を使うことへの自己嫌悪に家族の罪悪感と恥じる気持ちが追い打ちをかけ、どうしても孤立せざるを得なくなる。そうして、女性のアディクトの多くが孤独にひっそりと死んでいく。NAのミーティングにたどりつくまでに至らないのだ。

12ステッププログラムの趣旨に関して、ガーナでは（もちろん、世界中のNAでは珍しいことではないが）一般社会に多くの

混乱がみられる。たとえば、12ステッププログラムではどのような宗教も支持せず、どの宗教の信者でも宗教的背景がない人々でも歓迎するといっても、12ステッププログラムを宗教的な教義と受け止めている人が少なくない。それでも行政は12ステップの示す考え方を理解しつつあるが、だからこそ、行政機関をはじめとして、学校、信仰に基づく団体、司法や矯正制度に関わる機関、ビジネス業界など、まだ苦しんでいるアディクトがNAにつながる助けになりそうな機関には一つ残らずNAに関する情報を伝えていく必要がある。そのために、

行政は
12ステップの示す
考え方を
理解しつつあるが・・・



第1回NAラーニングデイ（ナイジェリア／ボンゴ郡）

先頭に立ってNAのシンプルなメッセージを運ぼうとしているメンバーたちが、ガーナにはいる。そうやって希望の炎を燃やしつづけているのだ。

そして2016年の9月24日には、薬物使用の広がりに対する意識を高めるとともにアディクションからの回復が可能であるということを示すため、ガーナで2回目となる「リカバリーウォーク」が開催された。このイベントは150～200人の参加者を得て、ラジオやテレビ局のインタビューや回復に関するさまざまな寸劇によって幕を閉じた。地域社会に根ざすさまざまな団体が多数参加し、なかにはアディクトではない地域の支援者もいたが、大半は回復の道を歩む者だった。こうして、回復を求めるアディクトの数が増えていることと、ガーナに希望が芽生えつつあることが示されたのだ。

ガーナによる取り組みを支える力になっているのは、NAのアフリカンゾーナルフォーラム（AZF）である。ガーナはAZFのメンバーになることで、ゾーンによって育まれる他のアフリカの国々との関係から恩恵を受けつつある。AZFは、2013年の5月にタンザニアのダルエスサラームで結成されたのだが、これはNAワールドサービスの手助けがあったことだった。アフリカ諸国の間で関係を築くためにNAWSの援助を求めているアフリカのメンバーたちに応えて、NAワールドサービスがアフリカの11の国々にあるNAのメンバーたちを結集させてくれたのだ。それ以来、ワールドサービスでは、年1回のAZFの会議でもまとめ役や資金援助を行ったりして、アフリカの各リージョンが協力しあってAZFとアフリカ大陸のNAの成長を促し維持できるように、何かと力になってきた。

このようなフェロシップディベロップメントによる取り組みでは、NAの文献をはじめ、ラーニングデイやサービスのイベントに用いる教材や、経済的な援助のほか、個別にそれぞれの国とのやりとりを続けていくことなど、NAWSは支援や資料の提供を惜しまない。アフリカの国々がここに記した予備的な努力を重ねるにつれて、NAWSは必要に応じて継続的な支援を提供する。サービスカンファレンスやラーニングデイの継続的な開催によって、現地のメンバーたちはNAのステップと伝統と概念について継続的に学ぶことができ、そうして学んだことをそれぞれのNAにいる他のメンバーたちに伝えていくことになるのだ。

今の私は、世の中という大きな仕組みのなかで生きられるようになっているが、だからといって自分ひとり

自分ひとりの力では太刀打ちできなくでも、NAにつながって仲間と力を合わせればなんとかなるとわかるのだ。

りでは回復しない。NAがあるから回復が夢ではなくなるのだ。自分ひとりの力ではアディクションという病気に太刀打ちできなくでも、NAに

つながって仲間と力を合わせればなんとかなるとわかるのだ。もし、自分の住む地域にミーティングがたくさんあってスポンサーがすぐみつかると、それだけでもう

感謝するしかない。そんなところは、世界中でもそう多くはないのだ。どんなこともステップに取り組むチャンスにすれば、心の落ち着きと、生きる目的と、充足がもたらされるのだと、身をもって示すことができる。そうやって回復の道を歩むことで新しい生き方ができるようになってくれた仲間たちの力に、私は感謝している。

これまでに仲間の経験が集積されたことと、プログラムのスピリチュアルな原理によって、NAは回復の道を歩むアディクトたちによる世界的な集まりになった。この記事が、それを実感させるものになれば幸いだ。私は2017年の9月にガーナに戻るつもりだが、この記事を読むみなさんがこれからガーナの「仲間たち」を祈りによって応援してくれるようになればと願っている。
モーリス・G (アメリカ合衆国/カリフォルニア)

・・・そして ナイジェリアの責任

僕のスポンサーはかつて、責任という原理が自分の回復においてどれほど不可欠なものであるかという話をして、自分の人生で大事な関係を深めるのになくしてはならないものだと言っていました。そして今、この責任という原理が、ナイジェリアのNAの発展にとってどのように不可欠なのかということ、僕たちはリージョンとして学びつつあるのでしょうか。昨年、僕は胸を躍らせながら、ナイジェリアで目の当たりにしているNAの成長について書かせてもらいました。ザリアでも、アブジャでも、ミーティングが次々と開かれるようになり、ラゴスグループも活気を取り戻しつつあり、ワースドサービスから文献の箱がいくつも届いたことで僕たちは希望に満たされたとお伝えしました。

それが、時間の経過とともにいろいろと困難なことが生じてきたのです。僕たちは、ザリアグループがあったという間に成長して、エリア内にグループが続々と誕生していくものと思っていました。しかし、それは裏目に出ました。アブジャでは、2つのグループが市内の異なる会場で定期的にミーティングを開いていることでいくらか成長がみられていたのですが、そのうちにメンバー数が徐々に減少していき、2つのグループは合併してひとつになってしまったのです。また、カドゥナでもやはり、さまざまな困難が生じていました。H&Iのグループである「DATERグループ」は、矯正に関する方針がいくつか改められたことによって悪影響を受けました。

そういえば、スポンサーは責任について話すなかで「何もかもうまくいかないときだけでなく、ものごとがあるべき道筋にそって進まないときにも、責任をまっとうするという原理を実践する必要があるのだ」と言っていました。僕たちは、そのことを実地で学んだのです。このような時期に、ソーシャルメディアのアプリを利用しているチャットグループ（クローズドミーティングの場として機能している）が広範囲で活発になってきたのです。このため、物理的なグループのミーティング数は減少したとしても、メンバーたちは相変わらずしっかり経験と希望と力をわかちあいながらクリーンタイムを祝っていたわけでは、僕らは、『今日だけ』の日々の黙想にあ

るわかちあいで気づかされることに慣れてきました。ラゴスグループではこれまでに何度か、やる気のあるメンバーがある程度そろったときに即興で会場を用意してミーティングを開くことができましたが、グループのメンバーたちに言わせると、何年も前から計画されていたとしてもこうはうまくはいかななかったであろうということです。

そして、僕たちは知恵をしぼり、ナイジェリアのNAが所有するNA文献をメンバーたちに利用してもらえるようにすれば、それが同時にフェロシップディベロップメントにも役立つのではないかと考えたのです。アブジャとカドゥナには現在、それぞれのグループの図書館があり、そこにはナイジェリアのNAが所有するNA文献が何冊も保管されています。それぞれのグループには責任を持って管理する司書がいるので、メンバーたちによる貸し出しと返却が滞りなくきちんと行われるようになっています。それと、最近カノやビニンのような町に引越したことでグループの設立に積極的に取り組んでいるメンバーたちには、文献を一式のほかに、グループ・スターター・パック（グループを始めるための資料）が進呈されています。また、スポンサーと一緒にステップ1

・・・知恵を絞り、
NA文献をメンバーたちに
利用してもらえるようにす
れば・・・

ればかのスポンサーをさせてもらおうと考えているメンバーであれば、パーソナル・スターター・パック（『ベーシックテキスト』、『なぜどのように効果があるのか』、『NAのステップワーキングガイド』）を自分用に望んでもおかしくないでしょう。

さらに、これまでの経験から、まだNAにつながっていない仲間たちに手を差し伸べることが極めて重要であるとわかりました。つまり、みんなで黙祷を捧げておしまいにははいけないということです。このため、僕たちはナイジェリアで第一号となるアウトリーチ委員会を設立しました。携帯電話の情報回線を購入して（これによって、問い合わせしてきた人に最寄りのミーティング会場の案内を提供できる）、私たちの連絡先を載せたチラシを何種類か印刷してメトロポリス全域で配布したのです。

ナイジェリアでNAが広がって発展していくという希望には、回復のメッセージを運ぶことに対する責任をつけ加える必要があることを、僕らは学びつつあります。

ジョセフ・I (ナイジェリア)



フェロシップディベロップメントは
ガーナやナイジェリアのほかにも、世界中で行われています。
この取り組みを支援する方法を詳しく知るには、
NAワールドサービスworldboard@na.org にご連絡ください。



オピニオン

バーチャルなミーティングで、リアルな回復

わたしは仕事で小さな町に行きました。着いたのは遅い時間でしたが、ミーティングには出ないと、と思いました。どうしてもというほどではなかったけれど、自分の回復に取り組んでいなければリプスすることになるからです。インターネットでミーティングリストを調べたら、そのあたりにはミーティングがありませんでした。隣の町まで行くにしても、レンタカーを借りていなかったし。仕方なく、自分のウェブカメラを起動してオンラインのビデオチャットによるNAミーティングに参加したのです。みんなで「平安の祈り」を唱え、おなじみのリーディングカードを読みあげ、ミーティングが感謝の言葉で締めくくられると、わたしは心穏やかに安心感を覚えました。わたしのいた地域は真夜中でしたが、現地時間もまちまちな世界各地から大勢の人たちが参加してわかちあっていたのです。回復は、みずから求める者には必ずもたらされるのだと実感しました。

テクノロジーによって恩恵を受けるアディクトは、わたしだけではありません。ここ3年の間、わたしはインターネットや携帯電話などさまざまなテクノロジーを利用することについて、回復の道を歩む人たちと話をしてきました。そのさいにはテクノロジーの使い道や、利用して不安や懸念に思うこと、そしてこの先どうなっていくかと思うかと、たずねました。テクノロジーによってアノニミティという原理が侵害されることや、テクノロジーが使えないと助かるすべがなくなってしまうこと（わたしたちはみな、メンバーになるために要求されることは一つだけだとわかっているが、それはテクノロジーに精通しているということではない）など、テクノロジーについて不安なことは山ほどあります。なかでも、テクノロジーはわたしたちひとりひとりの命を救ってきたあの言葉にできない人とのつながりをダメにしているというのが、不安の最たるものでしょう。たしかに、ミーティングの終わりに仲間たちと交わす愛情のこもったハグが、そっけないスクリーンの上にちらつく文章にとって代わるとか、あるいは安全と受容からなるわたしたちのかけがえない場所が、オンライン空間特有の混乱や荒しまわりの場になってしまうとか、考えるだけでゾッとします。また、『ベーシックテキスト』にはオンラインによる回復が何編か（たとえば「Just Say Yes」など）が語られていますが、それでもインターネットによるつながりが人とのつながりに取って代わることに對して、多くのアディクトが警戒心を抱いているのです。

また、ほかにも、オンラインのミーティングは若者向けだとか、本物の回復はオンラインではもたらされないとか、いろんな仮説や憶測が耳に入ります。そこで、オンラインによるミーティングがNAメンバーの人生でどのような役割を果たしているのか知りたいと思い、調査してみたのです。ボランティアによる少人数のチームをつくり、オンラインによる回復で人気のあるウェブサイト（提携とみられることを避けるために、名称は伏せておく）に関する自前のアンケートを配布しました。年齢も性別も多岐にわたり、16カ国を代表する合計285名の人々が、それぞれの経験と希望と力をわかちあうために回答してくれました。このうち、64名が対面式のミーティングだけに出席、43名がオンラインのミーティングだけに出席、148名が両方のミーティングに出席となっています。回答者のクリーンタイムは平均して8.5年で、新しいメンバーの方がオンラインミーティングを利用しやすいという傾向がみられました。

ただし、オンラインのミーティングに出席した人たち（平均56歳）の方が、対面式のミーティングに出席した人たち（平均49歳）よりも平均年齢が高いという意外な結果になっています。また、オンラインミーティングの出席者は総じて、ミーティングに多くの時間を費やしていました。毎月の平均出席数で見ると、対面式ミーティングのみが15回、オンラインミーティングのみが19回、両方が27回（ざっと振り分けると両タイプが半々）です。両方に出席している人たちの大部分が、オンラインのミーティングは対面式のミーティングと同じくらい役立っていると回答しています。さらに、このアンケートでは、オンラインミーティングに出席する理由を説明してもらいました。千差万別な理由のなかでよくみられたのは、交通手段がないこと、健康の問題や身体に障害があること、対面式のミーティングが開かれる時間帯には仕事があることなどです。

要するに、クラブハウスや、コーヒーショップや、教会の地下室でなければ回復しないというのは一方的な主張で、それを鵜呑みにしないことが大事なのではないでしょうか。現に、オンラインによるミーティングが多くのアディクトに回復をもたらしているのです。オンラインのミーティングは、回復の道を踏み出したばかりの人たちや、さまざまな理由で対面式のミーティングに出られない人たち、そしてクリーンでいるためには自分たちの住む地域にあるミーティングだけでは数が足りない人たちに対して、手を差し伸べる手段になるかもしれません。言い換えるなら、オンラインのミーティングは、今苦しんでいてももっと助けが必要な人たちに浸透しつつあるのです。それによって「回復を求めるアディクトは、だれもみな、アディクションの恐怖によって死ぬことはないのだ」ということが伝わっていくのですから、NAにとっては願ってもない状況でしょう。

こうした可能性が秘められているのに、オンラインのミーティングについては語りにくく、どうしても何か裏があるのではないかとみられてしまいます。それは、営利目的でNAとは関係のないウェブサイトによって運営されているものがいくつもあるからでしょう。しかし、そのようなものは、NAのミーティング案内にもNAのホームページにも載っていません。わたしたちがオンラインミーティングを好機とするのは、あくまでNAとしてメッセージを運ぶためなのです。では、わたしたちがNAの原理と伝統からなるNAの構造と保護のなかでオンラインミーティングを利用するのは、いつがよいのでしょうか。今を逃す手はありません。

ロナ・Y（アメリカ合衆国/ミネソタ）

編集記：ここに表明されているのは著者の意見であって、NAワールドサービスまたはNA全体の見解や方針を反映するものではありません。



オンラインや電話によるミーティングを探すには、以下のサイトにある国別の検索リストによって、「ウェブ」または「電話」を選んでください
www.na.org/meetingsearch

あるいは、
以下のような一般のアプリを利用するといいでしょう。
Amazon ---- www.tinyurl.com/j3r9nd7
App Store ---- www.tinyurl.com/o74swbr
Google Play ---- www.tinyurl.com/p94vkbky

NAで最も重要な文献

何年か前のことだ。私はまたカウンセリングを受けることになり、診療所の待合室にいた。壁の陳列棚にあるチラシやパンフレットに目をやると、NAのミーティングリストが束になって置かれていた。一枚引き抜いてみると、7年くらい前のリストだった。掲載されているミーティングの一部はもう存在してなかったし、ヘルプラインの番号もすでに使われていないものだった。このようにもう正確とはいえないミーティングリストが置かれている施設は、はたしてどのくらいあるのか。誤った情報のせいで迷惑を被ったアディクトは、一体どのくらいいるのか。私は不安になった。ミーティングリストは、NAの文献でいちばん重要なものだと私は思っている。だからこそ、正しい情報がきちんとゆきわたるように頒布されなければならないのだ。

あの待合室で私が経験したことは、正確さの重要性を示すよい例だろう。ミーティングリストは最新のものであればいいというものではない。そこに、ミーティングを探している人に必要とされる情報が余すことなく加わって、はじめて私たちが提供する情報は万全となる。このようなことは、私たちが責任の所在を明確にしてミーティングに関する情報を提供すればできないことではない。たとえば、各地でグループごとに担当者を決めて（グループのサービス代表が適任かもしれない）、エリアのサービス委員会に正しい情報をきちんと伝えられるようにする。そして、エリアまたはリージョンのサービス委員会でもグループからの情報を定期的に確認するメンバーを決めておき、そのメンバーがna.orgにあるミーティング検索ページにログイン（またはワールドサービスに電話）して自分たちのミーティングが正しくリストに記載されているか確かめるようにする。これに対して、NAWSの方でも、ミーティングの情報更新や登録の手順を簡略化する方法に関する資料を各地のサービス機関に提供するとよいだろう。

また、私たちの情報が正しく伝わるということでは、ミーティングリストの頒布も重要である。奉仕を任されたしもべたちが何らかの方法で、ミーティングリストの置かれている場所や補充が必要な時期を把握できるようにするとよい。場合によっては、ミーティングリストの頒布手順を決めることも可能かもしれない。たとえば、あるASCでは地元の病院と交渉して、救急室にミーティングリストを100部置かせてもらい、毎月補充できるようにした。そして、頒布についてもやはり責任者を決めて、自分たちがリストを置いている場所が頒布先として適しているかどうかを定期的に確認するのが望ましい。

伝統9では、私たちは組織化されるべきではないとされているが、それはあくまでグループとグループの運営に関してのことだ。NAのメンバーであれば、サービス機関や委員会は組織化されて体系的に活動した方がNA全体のためになると思うのが当然である。サービス機関や委員会は、グループのために活動し、その活動内容をグループにきちんと伝える責任があるからだ。私はつね日頃から、ミーティングにやってくる新しい仲間の数と、各地の電話相談サービスに寄せられる問い合わせの数こそ、NAの健全さをはかる最良の目安になると考えてきた。そして、このような新しい仲間たちの多くはミーティングリストによってNAにつながるのだ。印刷されたものであれ、ウェブサイトに掲載されているものであれ、あるいはミーティング検索アプリに盛り込まれているものであれ、私たちのミーティングリストが役立つかどうかは、私たちが収集して提供する情報によって決まるのだ。

マーク・S（カナダ/ブリティッシュコロンビア）



みなさんのミーティングに関する情報の掲載や更新について詳しく知るには、fsteam@na.org によってNAワールドサービスにご連絡ください。ASCやRSCは、こちらで表示しているエリアやリージョンの全情報が記載されたスプレッドシートを要求することができます。その際には、シートに記載されている情報を更新してこちらに送り返すための指示書も同封いたします。定期的（毎月、隔月、年4回など）に更新されていけば、ミーティングに関する情報の精度を上げることができるのです。そのために、みんなで協力しましょう。

ミーティング・ディレクトリーについて詳しく知るには、以下の文献をご参照ください
『パブリックリレーションズハンドブック』および『ガイド・トゥ・ローカルサービス・イン・NA』



経済的に自立することにより、
私たちは互いに
みずからの責任を果たしている
ことが示される。
ひとりひとりの自発的な
貢献によって
私たちはやるべきことが
できる。
その成果は目覚ましいもので
あり、NAは、
数える程しかない
グループから、
世界的な集まりに
成長した...

贈与の手続きをしておく ことでNAに貢献する

NAのメッセージがほかの人たちに届くようにするには、私たちの時間と労力が役立つことはあえていうまでもないでしょう。では、私たちが献金するお金はどのようなのか。やはり希望と回復をもたらすNAのメッセージに触れるアディクトの数をどんどん増やすことに役立っているのです。私たちはNAの12番目のステップによって、ほかの人たちの手助けをすればするほど自分のためになることを学びますが、そのような行いは、ほかのアディクトたちにうまくメッセージが届くように惜しみなく献金することと何ら変わりはありません。ですから、NAのミーティングではバスケットを回してみんなが献金しています。でも、私たちにこのおなじみの献金以外にも、財政的に貢献するという方法があるのです。現に、NAのメンバーやその愛する人たちから、贈与の手続きをしておくことでNAワールドサービスに貢献できないかという問い合わせをいただくのは珍しいことではありません。以下に、その回答例をいくつかご紹介してみましよう。

最もよくある質問は、「金銭（や、ほかの個人資産）をNAに残すことは、適切なのでしょうか」というものです。そもそも、NAは伝統7に従ってメンバーの献金から資金を得ているのですから、私たちが自分の死後に寄付したいという意向は、NAの伝統によって制限されたり阻止されたりするものではありません。このため、NAの行動指針に従えば、死後にNAに資産を残そうとしてもかまわないという答えになります。

メンバーがこのような方法でNAに貢献したいと考える場合には、生前にいくつか取り決めをすることによって、NAの伝統とNAが許容できる範囲から外れないようにしておく必要があります。また、亡くなったメンバーの家族や友人が、その死を偲んで寄付することを望むことも少なくありません。しかし、亡くなったメンバーがそのような申し出をすると決めていたのかどうか明らかでなければ、そのような寄付を受け入れることはNAの伝統に反するのです。ワールドサービスでは毎年、何件か、このような理由で寄付をお断りしています。

では、金額はどのくらいでしょう。伝統7には、「NAメンバーは「それぞれに相応な貢献」をすればよい」ということが書かれているし（『なぜ どのように効果があるのか』、「伝統7」）、ましてNAの文献には、メンバーによる貢献に関してあれこれとうるさいことは書かれていません。ですから、ミーティングでバスケットが回ってくる時と同じく、寄付する額もそれぞれの経済状態にもとづいて決めることになるでしょう。現時点では、存命中であろうと、死後であろうと、NAメンバーが献金できる額については上限も下限もないということになっています。

ナルコティクス アノニマスは世界中の国々に広がり、
NAの文献はさまざまな言語で読むことができる。
なぜなら、アディクトたちが惜しみなく与え、
自分を捨てて尽くそうとしようという気になっているからだ。

ここでは、贈与を考えている人たちのために一般的なガイドライン[指針]となるものをご紹介します。

・NAという集まりに何かを残す心づもりなら、書面しておく必要がある。通常は、遺言書を作成することになる。この場合、最も頼りになるのは遺言の検認者や不動産プランナーである。

・寄付を確実に受け取ってもらえるようにするには、遺言書の送り先を以下の住所に指定しておく必要がある。

「NA World Service, a California nonprofit public benefit corporation organized under Section 501(c)(3), bearing tax identification number 95-3090596 ; 19737 Nordhoff Place; Chatsworth, California, USA 91311」

・金銭をはじめとする流動財産による寄付は使い道に困らないため、一般的に最も有用な贈与になる。ただし、流動財産以外の遺贈を希望する場合でも、私たちはNAに最も役立つ方法で対処すべく最善を尽くす。また、非現金資産で遺贈された場合には、NAワールドサービスによってしかるべき方法で現金化されたのち、NA全体の資金に組み入れられることもある。

NAワールドサービスでは、贈与されたものをつねに最も必要性の高いところへ献納している。ただ、世界中のNAで求められることは絶えず変化しているので、どのように生かされるかは神のみぞ知るということになる。もちろん、贈与に込められた意向や熱意は尊重するつもりではあるが、最終的な使い道はNAワールドサービスによって臨機応変に決めさせていただくことになる。

なお、利用が制限されている基金または利用目的が規定されている基金は、NAの概念11にそぐわないので受け取るわけにはいかない。このため、用途や目的があって蓄えられた資金を寄付していただいても、返却することになる。そうならないためには、贈与主の遺言書がものを言う。NAワールドサービスが臨機応変に使い道を決定することに関し

て、遺言書に理解と同意が明記されていれば、寄付を受け取ることができる。たとえば、「なんの確約も得られないことは理解していますが、可能であれば、この贈り物を _____ のために役立てていただければ幸いです」などの一文があればよい。

上に記したように、贈与を考えるさいには遺言検認者や不動産プランナーの利用をお勧めします。そうすれば、みなさんは大変な思いをせずに手続きを万全にこなせるでしょう。

私たちはNAメンバーとして、ひとりひとりがNAの役に立つことに自分の時間と労力をつぎ込み、財政面でもそれぞれにできる貢献をしています。自分が努力すればNAは成長するのだからと、惜しみなく与えるのです。そうして与えようとする相手が、自分たちのエリアやリージョンのサービス委員会であろうと、NAワールドサービスであろうと、NAで「私たちが投資することに対する見返り」は値千金のものになります。NA全体で取り組むからこそ、NAという集まりには成長の勢いと活気がみられるのだし、それがメンバーの回復の拠り所となるのです。そして「私たちが一歩退いてナルコティクス アノニマス全体に目を向ければ、その全貌は息をのむほどみごとなものだ」とわかるでしょう。

NAという集まりのなかでNAの伝統7が働くことについてさらに詳しく知るには、IP #24 『マネーマターズ：セルフサポート・イン・NA』およびIP #28 『ファンディング・NA・サービス』というパンフレットに目を通してみるといいでしょう。

ここに引用された文章はすべて、特に明記されているものを除き、『ガイディング・プリンシプルズ：ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディションズ』の「伝統7」から抜粋されたものです。

さらに詳しい情報を希望する場合や、
贈与の手続きをしておくことに関して意見
や質問がある場合には、
PlannedGiving@na.orgへご連絡
ください。



When we come together in unity, we shine.

Guiding Principles: The Spirit of Our Traditions, Tradition Two

World Unity Day

2 September 2017 – 10 am PDT*

In the same moment, NA members around the world will pause together to reflect on our **worldwide Fellowship** and our primary purpose: to carry the message to the addict who still suffers. Whether you have a Unity Day event, **share a prayer** during a meeting or with friends, or just take time on your own, in this moment, **we all join together** in unity to share the Serenity Prayer.



A sampling of worldwide times for Unity Day

* If the time isn't practical for you, just pause at some point on Saturday, 2 September to feel the love of NA unity with a moment of silence, a prayer, and a sharing of NA energy.

NA unity is our bond with fellow addicts: those who came before us, those who are here today, and those who have yet to find us.

Guiding Principles: The Spirit of Our Traditions, Tradition One

For more information: www.na.org or call 818.773.9999



CALENDAR

Multiday events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at www.na.org/events. (If you don't have internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or The NA Way; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Canada

Alberta 29 Sep-1 Oct; Canadian Convention 25; Carriage House Inn, Calgary; canadianconvention.com

British Columbia 6-8 Oct; Pacific Northwest Convention 40; Hyatt Regency, Vancouver; pnwcn40.com

Nova Scotia 25-27 Aug; Serenity by the Sea Cape Breton Campout; Cape Breton Bible Camp; www.centralnovaarea.ca/events.html

Colombia

Bucaramanga 5-7 Aug; Colombia Regional Convention 26; Hotel Dann Carlton, Bucaramanga; nacolombia.org

Costa Rica

Heredia 6-8 Oct; Costa Rica Regional Convention 22; Alajuela, Ciudad Cariari; <http://costaricana.org>

Denmark

Skanderborg 4-6 Aug; Convention & Camp 10; Audonicon, Skanderborg; namidtyjlland.dk/konvent/index.htm

France

Paris 15-17 Sep; France Regional Convention 20; Couvent des Cordeliers, Paris; narcotiquesanonymes.org

Greece

Corinth 3-5 Nov; The Ties That Bind Us: 30 Years NA Greece; King Saron Hotel, Corinth; nagreecce.gr

Hungary

Velence 11-13 Aug; Hungarian Convention 16; Green School, Velence; <http://velence-201779.webnode.hu/>

Mexico

Baja California 20-22 Oct; Baja Costa Area Convention 25; Hotel GAMMA, Tijuana; <https://m.facebook.com/convbajacosta/>

Portugal

Portimao 22-24 Sep; European Conference & Convention 33; Portimao Arena, Portimao; eccna.eu

Puerto Rico

San Juan 11-13 Aug; Convención Unidos Podemos 28; Hotel Condado Plaza, San Juan; prna.org

Russia

Moscow 4-6 Aug; Russian Zonal Convention 2; Concert Hall Rossiya, Moscow; na-russia.org

Sweden

Stockholm 25-27 Aug; Sweden Regional Convention 30; Fryshuset, Stockholm; nasverige.org

Turkey

Mugla 20-22 Oct; Turkey Regional Convention 15; Jiva Beach Resort, Mugla; na-turkiye.org

United Kingdom

Glasgow 4-6 Aug; Glasgow & West Coast Area Convention 18; GoGlasgow Urban Hotel, Glasgow, Scotland; ukna.org/events

United States

Alabama 3-5 Nov; Greater Birmingham Area Convention 22; Holiday Inn Airport, Birmingham; event info: 205.902.4987

California 11-13 Aug; Mountain High Campout; Camp Richardson, South Lake Tahoe; sierrasadena.org

2) 25-27 Aug; Eleventh Step Retreat 5; Belden Town Lodge and Campground, Belden Town; facebook.com/11thstepretreat

3) 29 Sep-1 Oct; Area Habla Hispana del Sur de California Convention 12; DoubleTree Anaheim, Orange; ahhscna.com/ahhscnawp

Colorado 3-5 Nov; Colorado Regional Convention 31; Crowne Plaza Hotel & Convention Center DIA, Denver; nacolorado.org/crcna

Connecticut 25-27 Aug; Spiritual Weekend 29; Enders Island, Mystic; ctna.org

Florida 1-4 Sep; South Florida Regional Convention 23; Charlotte County Event & Conference Center, Punta Gorda; sfrca.com

2) 27-29 Oct; Treasure Coast Area Convention 9; Marriott Resort Hutchinson Island, Stuart; treasurecoastareana.com

Georgia 3-6 Aug; Midtown Atlanta Area Convention 26; Renaissance Concourse Atlanta Airport, Atlanta; midtownatlantana.com

2) 27-29 Oct; Serenity in the South 2; Hotel Tybee, Tybee Island; grscna.com

Hawaii 26-29 Oct; Hawaii Regional Convention 25; Aqua Kauai Beach Resort, Lihue; na-hawaii.org

Illinois 10-12 Nov; Greater Illinois Regional Convention 21; Pere Marquette, Peoria; centralillinoisna.org

Indiana 25-27 Aug; End of Summer Celebration 22; Camp Redwing, Muncie; naindiana.org

2) 15-17 Sep; Central Indiana Area Convention 14; Rodeway Inn North Conference Center, Indianapolis; naindiana.org

Maryland 15-17 Sep; River of Hope Unity Retreat 11; Lions Camp Merrick, Nanjemoy; cprna.org/event

Massachusetts 20-22 Oct; Berkshire County Area Convention 8; Jiminy Peak Mountain Resort, Hancock; www.berkshirena.org

Michigan 11-13 Aug; R&R at the Fort; Camp Fort Hill, Sturgis; michigan-na.org/southwest-michigan-area

Mississippi 4-6 Aug; We Do Recover Group (Delta Area, MS Region) NA1997 Platinum Celebration; Holiday Inn Memphis-Downtown, Memphis; nagroupna@yahoo.com

2) 6-8 Oct; Mississippi Regional Convention 34; Holiday Inn Express, Vicksburg; mrscna.net

Missouri 4-6 Aug; InTents Campout 2; Indian Creek Group Campground, Monroe City; stlna.org

2) 27-29 Oct; Saint Louis Area Convention 9; Sheraton Westport Chalet, Saint Louis; stlna.org

Montana 29 Sep-1 Oct; Montana Regional Convention 7; Big Horn Resort, Billings; namontana.com

Nebraska 27-29 Oct; Nebraska Regional Convention 34; Lincoln Marriott Cornhusker, Lincoln; nebraskana.org

Nevada 13-15 Oct; Region 51 Convention-The Spirit of Love 7; Orleans Hotel Casino, Las Vegas; region51na.org

New Jersey 4-7 Aug; New Jersey Regional Convention 32; Westin Princeton Forrestal Village, Princeton; www.njrcna.com

New York 18-20 Aug; Suffolk Area Convention 14; Melville Marriott, Melville; sasnaconvention.org

North Carolina 25-27 Aug; Bound for Freedom 28; Sheraton Charlotte, Charlotte; charlotte-na.org

2) 1-3 Sep; Spectrum of Hope Convention 3; Sheraton Greensboro Four Seasons, Greensboro; event info: 336.327.2356

Pennsylvania 4-6 Aug; Kittanning Free Campout; Crooked Creek Lake, Ford City; event info: 724.954.6277

South Carolina 25-27 Aug; Welcome Home 22; Holiday Inn Airport, West Columbia; midcarolinana.org

South Dakota 5-13 Aug; Sheridan Lake Campout; Squirrel Group Campsite, near Hill City; sdrna.com

2) 15-17 Sep; South Dakota Region of NA; Super 8, Sturgis; sdrna.com

Tennessee 4-6 Aug; NA1997 Platinum Celebration; Holiday Inn Memphis-Downtown, Memphis; event info: nagroupna@yahoo.com

2) 18-20 Aug; Middle Tennessee Area Unity Convention 14; Millennium Maxwell House Hotel, Nashville; nanashville.org

Texas 1-3 Sep; Sponsorship Is the Heartbeat of NA Group Anniversary 24; Holiday Inn, Austin; event info: 512.784.5551

2) 3-5 Nov; Best Little Regional Convention 29; Pearl on the Concho, San Angelo; blrna.org

Vermont 17-20 Aug; Back to Basics 33; Wallingford Boys Camp, Wallingford; gmana.org

Virginia 4-6 Aug; Almost Heaven Area Convention 31; 4-H Center, Front Royal; na2day.tripod.com

2) 8-9 Sep; First Rappahannock Area Convention; Hospitality House Hotel, Fredericksburg; rappahannockareaofna.com

3) 14-17 Sep; Marion Survivor's Group September Campout; Hungry Mother Lutheran Retreat Center, Marion; mfisher71@hotmail.com

Washington 18-20 Aug; Summer Sizzlers; Red Lion Hotel-Richland Hanford House, Richland; 3citiesna.org

2) 15-17 Sep; Power Women's Retreat; Camp Lutherwood, Bellingham; nwwana.org

3) 3-4 Nov; Washington/N Idaho Regional Service Learning Days; Saint Paul's Episcopal Church, Walla Walla; wnirna.org

Wisconsin 20-22 Oct; Wisconsin State Convention 34; Best Western Premier Hotel & Convention Center, Oshkosh; wsnac.info

Wyoming 18-20 Aug; Campout under the Stars 28; Stillwater Campground, Evanston; livingproofgroupofna.org

WCNA 37: あの不思議な力は^{今も}ここに

1989年にフロリダのオーランドで開催されたWCNA 19のテーマは、「不思議な力が、ここにある」でした。それは、2014年になって私たちがオーランドに戻ってもやはり実感できると信じているので、WCNA 37のテーマは「あの不思議な力は、今もここに」としました。

WCNA 37は、2017年の9月には登録の受付開始となることを目指しています。早期登録によって、企画準備が滞りなく進むでしょう。フロリダは、コンベンションの開催前後に漫遊するには理想的なところのようですから、いろんなオプションツアーを提供できるように検討しています。オーランド・コンベンションセンター周辺にはさまざまな価格で泊まれるホテルがたくさんあるので、徒歩で通うのも苦にはなりません。このため今回は、特別な配慮を必要とする人たち以外には、バスによる送迎の用意はありません。

つい最近、私たちが参加した「フロリダシンポジウム」によって、フロリダのNAメンバーたちは世界中の仲間を喜んで迎えようと心待ちにしていることがよくわかりました。WCNA 37はすばらしいコンベンションになるでしょう。詳しい情報がわかり次第にお知らせしますので、どうぞお楽しみに！

日程を押さえておこう

2018年8月30日～9月2日 ——— アメリカ合衆国フロリダ州オーランド

WCNA 37に関する最新情報は、www.na.org/subscribe で定期的に更新されています。

NAWS Product Update

Group Starter Kit (GSK)

Now includes the Seventh Tradition Box
at NO additional cost

to make the GSK more complete for new groups/meetings. GSK contains one of each *Group Treasurer's Workbook*, *The Group Booklet*, 7th Tradition Box; two White Booklets, 18 informational pamphlets (IPs), 5 service pamphlets (SPs).

Item No. 9020

Price US \$6.75/5.85 €



Twelve Traditions Bookmarks (Set of 12)

Attractively packaged set of 12 bookmarks with each Tradition debossed on one side and striking artwork inspired by *Guiding Principles: The Spirit of Our Traditions* on the other side. Bookmarks are individually shrink-wrapped for easy giving to your sponsor/sponsees and other recovering friends.

Item No. 9406 Price US \$12.00/11.00 €

It Works Audio CD (MP3)

Due to special needs demand, *It Works* audio CD is now available at reduced price.

Compatible only with
MP3 player/reader.

Item No. 8821 Price US \$9.00/7.90 €

Coming late July Line-numbered Basic Text

Narcotics Anonymous

Item No. 1101LN Price US \$11.55/10.00 €



Bengali (Bangladesh)

IP #1:

কে, কী, কীভাবে এবং কেন ?

Item No. BN3101 Price US \$0.24/0.21 €

Nepali

IP #6: धार र पुनःसेवनस

Item No. NE3106 Price US \$0.24/0.21 €

Irish (Gaelic)

Item No. GA4100 – 4108 Price US \$8.50/7.50 €



Danish

Just for Today

Revised to the Sixth Edition
Basic Text

Bare for I dag

Item No. DK1112 Price US \$9.00/7.90 €





Kannada

IP #16: ಹೊಸದಾಗಿ ಬಂದವರಿಗೆ

Item No. KN3116 Price US \$0.24/0.21 €



Russian

White Booklet

revised to include local members personal stories

Белой Брошюры

Item No. RU1500 Price US \$0.75/0.82 €

Spanish

*NA & Persons Receiving
Medication-Assisted Treatment*

*NA y las personas en
tratamiento asistido con
medicación*

Item No. SP2306 Price US \$0.30/0.27 €



**IP #13: Юным зависимым
от юных зависимых**

Item No. RU3113 Price US \$0.31/0.26 €



**IP #26: Доступность собраний
для зависимых ...**

Item No. RU3126 Price US \$0.24/0.21 €

IP #27: Для родителей или опекунов ...

Item No. RU3127 Price US \$0.24/0.21 €

New eLit

Just added to our eBooks collection.

Available on Amazon, Google Play, & iTunes.*

Italian Basic Text

Narcotici Anonimi

Spanish Basic Text

Narcóticos Anónimos

Amazon: <http://tinyurl.com/o4thtm9>

Google Play: <http://tinyurl.com/ogsc7qo>

iTunes: <http://tinyurl.com/nzax9d8>

* This does not constitute endorsement of
or affiliation with these vendors.

To Be Discontinued

Sponsorship Gift Edition

Item No. 1131 Price US \$20.90/18.50 €

Living Clean Mug

Item No. 9417 Price US \$16.50/14.40 €

Coming Soon

Danish

The NA Step Working Guides

NA' Vejledninger i trinarbejde

Item No. DK1400 Price US \$8.50/7.50 €

Portuguese

Sixth Edition Basic Text

Narcóticos Anónimos

Item No. PO1101 Price US \$11.55/10.00 €

Spanish

Concordance Line-numbered Basic Text

Narcóticos Anónimos

Item No. SP1102LN Price US \$11.55/10.00 €

